

安楽だより

志布志市立安楽小学校

第314号

発行責任者：校長 横峯 健

発行年月日：令和4年6月22日



不便から学ぶ

校長 横峯 健

5年生は、6月8日（水）から1泊2日で霧島自然ふれあいセンターへ宿泊学習に行ってきました。就寝中に雨が降り、テントの中まで水浸しになるなどのアクシデントはありましたが、子供たち全員が参加し、元気で帰校できたことが一番です。ぜひ、宿泊学習で学んだことをこれからの学校生活で活かしてほしいです。



テント設営前の様子

私は十数年前、縁あって県立南薩少年自然の家に勤務していました。薩摩半島南部の南さつま市にあり、宿泊学習や合宿など、年間6万人の県民が利用している県内の社会教育施設です。宿泊学習等で利用される団体の入所式（始まりの式）では、次のように言っていたことを思い出します。「自然いっぱい活動を通して楽しいことだけでなく、不便で大変なこともあることでしょうか。我慢しなければならぬこともあるでしょう。その中で普段の生活では気付かなかった自分のよさや友達のよさなどに気付くでしょう。」と。

集団生活の中で「我慢する」ことは、大事なことのひとつです。「我慢する」、つまり「忍耐力」というのは、学校はもちろん、人間関係や日常生活を送る上で重要です。大人であれば辛いことや苦しいことに耐える力だったり、何事にも諦めずに続けたりすることです。子供であれば欲しいものがあつたら少し我慢する、もっと遊びたくても我慢して家に帰るといった我慢が忍耐力になっていきます。忍耐力がつかると次のようなメリットがあります。

1 目標を達成できるので幸福度が高い

子供であっても、〇〇ができるようになりたい、〇〇が上手になりたいという目標があるものです。この時に忍耐力があれば自分にとって大切な目標を達成しやすくなり、気持ちが満たされるので幸せを感じます。

2 自己肯定感が育つ

達成感はその自信につながることで、忍耐力をつけておくと自己肯定感も育っていきます。自己肯定感が高い子供は、チャレンジする意欲や前向きに捉える力等に優れているので、何事に対しても積極的に行動する傾向にあります。

3 友達ができやすくなる

子供のうちは、お互いが我慢できずぶつかり合うこともあります。早くから忍耐力があると順番を守ったり我を通そうとしないので、友達ができやすくなります。（子どもの忍耐力を養うために親が気をつけたいことー子育て&教育ひと言コラムーより引用）

忍耐力は1日2日で身につくものではなく、日々の生活の小さい出来事の中から長い時間をかけて身につけていくものです。本校の宝である「あんらくっ子宣言」の中にも「わがままを言わずがまんします」とあるように、本校の課題であり、頑張らせたい力のひとつです。

6/8・9 集団宿泊学習

5年生が2日間、宿泊学習に行きました。乗馬体験やテント設営・野外炊飯・キャンプファイヤー・オリエンテーリング等活动が面白押しで、初めて経験する子どもたちも多かったののでいい経験になったことと思います。特にテント泊の際、夜中に突然雨が降り出し、荷物を運び出す等ハプニングが起き、自然の大変さも感じた学習になりました。最後山宮神社に到着した子供たちはすっかり疲れた様子でしたが、充実した2日間でした。



6/11 児童引き渡し訓練

6月11日(土)に児童引き渡し訓練を行いました。体育館に全員移動した後に午前11時15分から保護者の方に児童の引渡しを始めました。校庭に車を停めて体育館に迎えに来て頂いたのですが、校庭に順番に停車していただいたので、正門前の道路に渋滞が起きてしまいました。近隣の方に御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。来年度は、渋滞が起きないように対策を考えていきたいと思ひます。



6/15 芸術鑑賞会

霧島の「みやまコンセール」に所属の音楽家の方々を安楽小学校に招き、「楠の子コンサート」と銘打って、子供たちに生演奏を聴きました。アニメの主題歌など子供たちにもなじみの曲ばかり演奏していただき、普段、あまり音楽に興味のない子供たちも最後まで静かに聴くことができました。声楽の方もいらっしやってその声の響きに子供たちもびっくりしていました。このような機会を作って頂き、関係者の方に感謝したいと思います。



さつまいもを植えました



校庭の道路を挟んで向かい側に学校農園がありますが、その畑に地域の方の御協力を頂きながら、全校児童で「さつまいも植え」を行いました。昨年度は、さつまいもの病気が流行ってしまい、収穫が少なかったようです。今年度は、無事に育て、秋には全校児童で、大きなさつまいもが収穫できればいいなと思ひます。

水泳学習が始まりました

6月に入り水泳学習が始まりました。同じ時期に梅雨にも入りましたので、今年は雨の日が多く、なかなか青空の下で泳ぐ機会がありません。早く梅雨が開けて、子供たちが気持ちよく泳げるようになってほしいと思ひます。

